



笠間市議会議長
大関 久義 様

請願第6-3号

令和6年 11月/5日

笠間市民球場・ニーズ対応への整備について

【請願書】

(ニーズ：客席増設・安全対策屋根設置)

【請願者】

(元)茨城県軟式野球連盟 理事長

住所：笠間市笠間1527

tel) 0296-72-5240

氏名 川堀 一郎



茨城県高等学校野球連盟 専務理事

住所：水戸市大町3丁目1-22(5階)

tel) 029-353-8727

氏名 榎戸 努



笠間市スポーツ協会 会長

住所：笠間市石井2068-1

tel) 0296-71-7077

氏名 井坂 守



笠間市野球連盟 会長

住所：笠間市笠間2695-6

tel) 0296-72-1342

氏名 中村 浩一



笠間市発展を願う市民

住所：笠間市本戸845-3

tel) 0296-74-2756

氏名 岩崎 伸太郎



【紹介議員】

田村 泰之



内桶 克之



河原井 信之



笠間市民球場・ニーズ対応への整備について

【請願書】

(ニーズ：客席増設,屋根設置)

笠間市民球場「スコアボードの電光掲示板化改修」に関する請願書は、2015年に提出し、国体前に対応、整備して頂き、誠にありがとうございました。

I. 請願の趣旨

- 笠間市民球場は学童,中学,高校,大学,社会人野球、そしてプロ野球(BCリーグ)迄幅広く運用されている。その中で特に利用度が高く、運用効果も最も高い高校野球に関するものです。

1)経過

- ①県高野連様の観客席増設要望は、2015年以前(2008年)からあり、笠間市も整備対応を検討した経緯があったが、市としてはアクションには至りませんでした。
 前回は電光掲示板先行(国体対応)で請願し、当テーマは次回に環境が整ったところで提出することになっていた。
- ②要望有時から16年経過し、今回コロナ禍も終わり、球場が満員となり、夏の県大会のみで、入場者数も約5万人となった。またバーチャル高校野球LIVE中継(地方大会全試合)も視聴者数が2億回を突破し、笠間市民球場での試合も、10万回以上は視聴されている状況となった。
 当初の予定の環境も整い、請願書の提出時期と判断しました。

2)請願内容

①従来からのテーマ(客席増設)

全国高校野球県大会では、内野席と共に、外野芝生席もほぼ満員となっている試合が多い。
 外野芝生席に多数生徒が入ると、「ケガ」の危険があり、顧客ニーズの「客席増設」を要望。

②今回の新たな高野連様の要望(屋根設置)

観客の安全確保(熱中症、及び雷対策)の為に、球場の「屋根設置」の要望があった。

③笠間市の資源としての設備投資

これらの環境の中で、県内及び、全国の野球ファンを魅了するこの財産を、「笠間ブランド」を高める貴重な資源として活用し、笠間市発展に繋げて頂きたい。

II. 請願に関する個別要素情報

1)県大会使用球場の状況(収容人員比較)

- ・県内の使用球場(水戸、ひたちなか、土浦)は観客席数が多く、収容人員は 15,000人～25,000人と大規模で全く問題なし。
- ・日立市民球場は現在改修中で、収容人員は12,000人⇒15,000人と拡張整備中。
- ・国内の夏の県大会使用球場を調査した結果、球場の収容人員は殆どが10,000～30,000人。
- ・最小規模の球場でも、約10,000人収容で、内野席の収容人員は殆どが 5,000人以上となっている。(笠間市民球場・内野席収容人員:3,500人)

2)笠間市民球場 (2024年夏の大会状況)

- ・全国高校野球茨城県大会は脱コロナもあり、ブラスバンド、チアリーディング応援も再開3年目を迎え、バスを連ね多数の生徒が笠間市民球場に集まる。
- ・今年の夏の大会試合数は16試合、内強豪校としてのシード校が6校出場。
- ・内野席満員で、外野芝生席が生徒で埋まった試合(観客:3500人以上)は6試合。
- ・今夏の大会は 約5万人の入場となった。

3) 過去の茨城県高野連様からの要望、及び市検討状況

1).市長への要望内容

※2015年(前回の請願書提出年より以前の話):スポーツ振興室より情報提供頂きました)

(要望内容)

- ①時期:2008年(平成20年)9月
- ②内容:ブルペン無くしてスタンドを増設する。
外野バックスクリーン両サイドのフェンス設置

2).市の検討内容 [(元)茨城県軟式野球連盟理事長談]

- ・高野連より応援生徒が内野から溢れ、外野応援となる。改善できないかの話があった。
- ・市の検討内容:ブルペンをグラウンドへ移動し、跡地をベースに客席を増設設置するにあたり、仮設スタンドを設置すれば、毎年100万円(当時)で対応はできるのではないかな。
- ・その際に、ブルペンをグラウンド内に移動しても問題ないかどうか。
- ・市長より相談があり、問題ありませんと申し上げた。

4) 茨城県高野連様の今現在の情報 (榎戸専務 確認日:2024,8,27及び、2024,10,15)

1)経過

- ① コロナ禍時はブラスバンド、及びチアリーディングの制限があったが、2022年大会から制限が解除され、再開された。再開後、3年目となる。
- ②高野連から過去(10年以上前)に、内野席の増設を要望した経緯はある。
- ③専務は日本ウェルネス高校(笠間市)のアドバイザーをしており、山口市長とお会いしている。

2)従来からのテーマ(内野客席増設 要望)

- ①現状の収容人員 3,500人を→5,000人以上に増席して頂きたい。
- ②外野芝生での多数生徒応援は「ケガ」の危険があり、安全面から改善が必要な状況。

3)応援団の参加生徒数と球場について (全高校が一律方式ではない)

- ①参加生徒数は1回戦等の全校生徒応援と、2回戦以降の学年別応援とに分かれる。
また、勝ち進んだ場合等でも、全校生徒応援の場合がある。
- ②出場校の応援団人数情報
私立高(常磐大高,常総学院,土浦日大等)→MAX)1,700人,他の私立高→1,000人以上
県立高校:水戸一高他→900人程度
- ③県大会で大きな試合は、現在は観客席のキャパの面で、笠間以外の他球場に行っている。
- ④県内他都市から、県大会の使用球場としての誘致の話がきている。
(要望は牛久市、竜ヶ崎市、常陸大宮市等)
現在は客席のキャパ又は、交通面から誘致への対応は断っている。

4)新たなテーマ(安全対策屋根設置)

- ①雷及び、熱中症へ安全対策として「屋根設置」が高野連として重要となっている。
 - ・安全対策の屋根設置球場:水戸市民、及びひたちなか市民球場
 - ・ " 未設置球場:土浦市営球場及び、笠間市民球場
 - ・土浦市へは屋根の設置を依頼済で、前向きな対応のお話は頂いている。
 - ・笠間市民球場も同様に、安全確保の面から屋根設置をお願いしたい。
- ②笠間市民球場での熱中症生徒の記録確認
(2013年7月:笠間の気温は36.1度と高く、市民球場の野球応援生徒8人が病院に運ばれた)

5) グラウンド使用上の直近の課題（高野連様からの要望）

- ①外野芝生エリアは「雑草」が生えている。選手のゴロ処理が充分にできない状況である。
芝生エリアの品質改善を依頼。
- ②バックネット裏の建屋内 本部席は、雨が降ると水浸しが出ている。
コピー機を持ち上げたり、長靴をはいたりしている状況にある。雨が流れ込まないように対策し、改善整備を依頼。

Ⅲ. 請願事項

1) 整備依頼項目

- ①現在のブルペンがグラウンド内に移動し、跡地及び、内野芝生エリアへの増設席の整備依頼
現状: 3,500席→5,000席以上として是非実施して頂きたい。
- ②県高野連様から屋根設置の要望が出ており、他の県大会使用球場とレベルを合わせ、安全面に配慮した格付けの球場として、信頼度を高めて頂きたい。

2) 整備スタンスの明確化

- ①県を代表する球場として、今後永く使用して頂く為に、また他市からの強い誘致活動への対抗も含め、当市として、この「球場のベーシックインフラ」を整備推進して頂きたい。
- ②現在の状況状況
 - ・コロナ禍も終わり、球場が満員となっている。
 - ・夏の県大会:入場者数 :約5万人,
 - ・バーチャル、高校野球LIVE中継も視聴者数 :2億回を突破
笠間市民球場のLIVE視聴数 :10万回以上と思われる
- ③県内外の野球ファンを魅了する重要なこの財産を、「笠間ブランド構築」に向け、全国にPRできる貴重な一つの資源として活用し、笠間市発展につなげて頂きたい。
- ④予算確保を配慮し、数年計画の中で1期は客席増設、2期は屋根設置に分け、助成金の確保と合わせて、整備スタンスの明確化をして頂きたい。

以上の理由により、ニーズに対応した笠間市民球場の整備を請願致します。

- ・市議会の中で、論議して頂きたい。
- ・スポーツ振興施設整備助成金を是非、ご活用して頂きたい。

(添付資料)

1. 県内外の夏の大会使用球場と、収容人員数(比較)
2. 笠間市民球場 第106回全国高校野球 茨城大会 観客状況 (内外野写真)
3. 笠間市民球場 客席増設整備(案)
4. 他球場)参考情報 (常陸大宮市民球場、甲子園球場、牛久市民球場、茨城県営球場、栃木市: とちのき木の花野球場)
5. バーチャル高校野球 (全国地方球場全試合ライブ中継)
6. 市民球場の改修費用と助成金 (参考情報)